

令和8年度 釜石市立鵜住居公民館運営計画

I 運営方針・重点目標

1 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、自然災害に備えた防災、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

また、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え事業を展開することにより、より多くの住民に学習の機会と場を提供するよう努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業を推進する。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業計画

1 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鵜住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	▶保健講話、計測（身長・体重）、おもちゃ遊び、簡単な調理、工作など 〔時期〕年3回 〔場所〕鵜住居子育て支援センター 〔対象〕未就学児と保護者
	【成果と課題】		

2 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	わんぱく子ども教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	▶工作教室や体験学習など小学生を対象とした事業 〔時期〕年1回（夏季休暇） 〔場所〕鵜住居公民館など 〔対象〕鵜住居小学校児童
	【成果と課題】		

	うのたみ食堂の開催	子どもの居場所並びに世代間交流の機会の提供。	▶ 鶴住居地区民生児童委員協議会主催 〔時期〕 年1回 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居児童館の登録児童及び地域住民
	【成果と課題】		

3 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び 高齢者の 健康づくり	各種健診等の推進	健康教室等の事業や公民館だよりに啓発記事を掲載し、各種がん検診、特定健診等の受診勧奨や指導を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館など 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】		
	あつまれ！鶴住居の杜	地域に安定した交流機会をもち、閉じこもり予防、心身の健康と学びの機会を設ける。	▶ 交流機会の創出、閉じこもり予防、心身の健康と学びの場の創出 〔時期〕 原則毎月1回開催 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】		
	うのすまい女子会	女性の交流機会の提供、食生活の見直し、健康に関する知識啓発。	▶ 女性対象の調理実習 〔時期〕 年1回 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の女性
	【成果と課題】		
	健康教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	① 桑の浜健康教室 〔時期〕 年4回 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民 ② 室浜健康教室 〔時期〕 年4回 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民 ③ 女遊部健康教室 〔時期〕 年1回 〔場所〕 女遊部集会所 〔対象〕 女遊部地区住民 ④ 両石健康教室 〔時期〕 年2回 〔場所〕 両石復興住宅集会所 〔対象〕 両石地区住民 ⑤ 根浜サロン ※社会福祉協議会と共同開催 〔時期〕 月1回（夏・冬期休みあり） 〔場所〕 根浜集会所 〔対象〕 根浜地区住民

【成果と課題】		
各種100歳体操の会	100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。	<p>① イケイケ会 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 鶺住居復興住宅2号棟集会室 〔対象〕 鶺住居復興住宅2号棟の周辺住民 ※現在、お休み中</p> <p>② ホップステップ 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 箱崎集会所 〔対象〕 箱崎地区住民</p> <p>③ 片岸きらきらクラブ 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 片岸集会所 〔対象〕 片岸地区住民</p> <p>④ いきいき鶺住居 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区住民</p> <p>⑤ 桑の実クラブ 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民</p> <p>⑥ ニコニコ室浜 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民</p> <p>⑦ スマイル日向 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 日向復興住宅集会所 〔対象〕 日向地区住民</p> <p>⑧ 両石若人の会 〔時期〕 毎週土曜日 〔場所〕 県営両石アパート集会所 〔対象〕 両石地区住民</p> <p>⑨ やまびこの会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山地区住民</p> <p>⑩ 新川原のつどい 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 新川原集会所 〔対象〕 新川原地区住民</p> <p>⑪ シャキッと新神 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 新田・神ノ沢集会所 〔対象〕 新田・神ノ沢地区住民</p>
【成果と課題】		

	すまいるウォーキング	鶺住居地区内、また市内外のウォーキングスポットをウォーキングすることで、鶺住居地域住民間の交流、健康維持の機会を設ける。	▶ウォーキングによる交流と健康維持。スタンプラリーを実施し、特典として市外ウォーキングスポットの散策会を行う。 〔時期〕4月、5月、6月、9月 10月、11月 第2金曜日 〔場所〕鶺住居地区、市内外スポット 〔対象〕鶺住居地区住民ほか
	【成果と課題】		
	鶺住居健康ラジオ体操	定期的に体を動かす機会を作ることにより運動の習慣化、住民間の交流につなげる。	▶ラジオ体操に取り組み健康維持に努める。 〔時期〕4月～6月、9月～11月 ※9時～9時15分 〔場所〕鶺住居公民館駐車場前付近 〔対象〕鶺住居地区住民
	【成果と課題】		
	チームオレンジ・はまぼうふう	認知症になっても安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組み。	〔時期〕年2回（7月、1月） 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕会員（地域住民、法人） 〔内容〕グループトーク、意見交換、研修会
	【成果と課題】		
芸術文化活動の推進	鶺住居交流講座	地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。	▶手芸や工芸などの講座開催により同じ趣味を持つ者同士の交流の機会を提供する。 〔時期〕年1～2回 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕鶺住居地区住民
	【成果と課題】		
	出張公民館事業	鶺住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。	▶公民館まで足を運ぶことが難しい地域住民の皆様へ、学びの場、交流の場を提供。内容は相談のうえ決定する。（軽運動や健康教室などを想定） 〔時期〕年2回（7月、11月予定） 〔場所〕各地区集会所など 〔対象〕開催地区住民
【成果と課題】			
男女共同参画の推進	男の手料理教室	男性の交流機会を設けると共に、健康づくりや食生活の改善を図ることを目的とする。	▶交流機会の提供及び食生活の見直し栄養や健康に関する知識の啓発を図る 〔時期〕毎月1回 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕鶺住居地区の男性
	【成果と課題】		
高齢者の生きがいづくり	鶺住居管内ニュースポーツ交流会	鶺住居管内において公民館事業などでの取り組みにより、ニュースポーツ人口が増えていることから、ニュースポーツ	▶地域住民の交流を図るほか、年末恒例の市内公民館対抗ニュースポーツ交流大会に向けて選手選考会の側面も持つ。 〔時期〕年1回 〔場所〕鶺住居公民館

		による交流会を開催することで管内地域住民の交流を図る。	〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】		
	デイサービス事業 【共催事業】	閉じこもり予防事業として、高齢者の仲間づくり、健康生活の維持・促進等を図ることを目的とする。	▶ふれあい教室 （釜石市社会福祉協議会が各種レクリエーションなどを実施） 〔時期〕 毎月1回 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民 ※箱崎白浜地区でも毎月1回実施
	【成果と課題】		

4 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい公民館まつり	公民館利用団体の発表の場とし、鶴住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	▶ステージ発表、作品展示などを行うことにより、活動の活発化と生涯学習意欲の向上を図る。 〔時期〕 10/24（土）予定 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】		
交流の場の創出	市内公民館交流事業	地区の規模、自然環境や風習が違う他地区の住民と交流することで、様々な体験や気づき、仲間の広がりにつながり、自分の住む地域を再認識し、郷土愛の醸成や地域の活性化を図る。	▶他地区公民館との交流事業を行う。 〔時期〕 年2回 〔場所〕 鶴住居公民館など 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】		
	鶴住居地域交流会	子どもと地域住民の交流の場となる地域に定着した事業として、ニュースポーツによる交流会を実施することにより世代間交流の促進を図る。	▶鶴住居小学校と連携し、児童と地域住民とのニュースポーツによる世代間交流会を行う。 〔時期〕 年1回 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居小学校、鶴住居地区住民
	【成果と課題】		
	おーい！むかしっ子教室	地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子ども達に継承・伝承するとと	▶地域の子供達と地域住民と一緒に小正月の伝統行事である「みすき団子作り」を行い、地域の風習を学びながら交流を深める。

		もに世代間の交流を図る。	〔時期〕 年1回（1/13予定（水）） 〔場所〕 鶉住居公民館 〔対象〕 鶉住居学童育成クラブ 鶉住居地域住民 男の手料理教室
	【成果と課題】		
防災や生活環境に関する学習	鶉住居防災学習	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	▶自然災害に備えた防災等を学ぶ講座を開催。 〔時期〕 年2回 〔場所〕 鶉住居公民館 〔対象〕 鶉住居地区住民ほか
	【成果と課題】		

5 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	▶午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始は水道管凍結防止のため貸館休止） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人など

6 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 年2回（5月、2月予定） 〔場所〕 鶉住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 年1回（6/5） 〔場所〕 鶉住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとり」の発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報等を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。 〔時期〕 毎月1回 1日発行 〔対象〕 鶉住居地区住民

	自主サークル活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：18団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり
	鶉住居地域会議との連携	鶉住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携し、まちづくりを進める。	▶鶉住居地域会議との連携事業 〔時期〕年1回予定 〔場所〕鶉住居公民館 〔対象〕地域会議構成員
	【成果と課題】		
	ボランティア団体等の受入	関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域のニーズに即した活動を支援する。	〔時期〕随時 〔場所〕鶉住居公民館 〔対象〕鶉住居地区住民
	【成果と課題】		